そすいの郷

第３２９号
２０２１年（令和３年）
１２月２０日 編集・発行
西地区コミュニティ運営委員会
広報編集部会

（皇帝ダリア。11/24南赤田公民館にて撮影。）

竹工芸作品を展示（竹工芸同好会「竹楽」）

12月5日から10日まで、西公民館（旧図書室）において、竹工芸同好会「竹楽」（北村 実会長）の作品展示会が開かれました。

竹工芸同好会「竹楽」は、平成29年度に三区町在住の竹工芸作家・井上守人氏を講師に行われた市民大学講座「竹工芸入門講座」の修了者が、2017年10月に立ち上げた同好会です。講座修了者以外の方も加わり、現在の会員は13名です。

西公民館を会場に月2回（第2、第4土曜日）制作に取り組んでいましたが、新型コロナの影響で活動を休止せざるを得ない期間が長く続きました。この間、会員は各々自宅で製作に励みましたが、竹籠づくりの仕上げ「籐を使った縁まき」などは難しいことから、引き続き指導している井上さんの手ほどきを待っていました。

ようやく活動が再開され、西公民館の計らいで発表の場（なしお博関連イベント・公民館利用団体展示会）が提供され、今回の展示会となりました。出展作品は飾るための作品ではなく「自分が使いたいと思うものをつくる」とのモットーから、ソバざる、ブローチ掛け、果物入れ、くず入れ、背負い籠、持ち運びができるCDプレーヤー入れなどの作品も展示されていました。

竹工芸は、竹を切り乾燥させ、油抜きをした後、鉈で竹を割り、皮を剥ぎ、幅をきめ、厚さをきめ、面取りをするなどの「材料づくり」が８で「編み」が２と言われるそうです。

竹工芸同好会「竹楽」では、みんなで竹切りに出かけるなど、材料作りから楽しんでいます。

『ながら見守り』にご協力を！
～子どもを見守るまち宣言～

西地区コミュニティ運営委員会では、地域の宝である子どもを安心・安全に育む活動として、那須塩原市の「子どもを見守るまち宣言」に沿った活動に力を入れることとしています。

【宣言の内容】
- ◆地域ぐるみで、登下校時の子どもの見守りを推進します
- ◆地域ぐるみで、子どもを見守る意識を高めます
- ◆地域と行政が連携を深め、子どもの見守りの輪を広げます

皆さん一人一人の意識の積み重ねが地域の安全を高めますので、散歩中・庭の手入れ中・買い物途中など、日常の中での『ながら見守り』にご協力をお願いします。

なお、小学校の休みは、１２月２５日（土）から１月１０日（成人の日）までです。

地域の話題・トピックス

西地区の行事や出来事、身近な話題などの情報がありましたら、広報編集部会員または西公民館（☎37-1677）までお寄せ下さい。また、西地区で活動していること、趣味のこと、自慢話や思い出話、地域の昔のことなど、「そすいの郷」への投稿も募集しています。（できれば写真も一緒にお願いします。）

投稿　南赤田 令和３年、高齢者お楽しみ会 開催

西赤田　平野孝雄

区主催、生きがいサロンと合同で、11月24日午前10時より南赤田公民館で開催。参加対象を「敬老会招待の方」「70才以上の一人暮らしの方」とした。

会は区長挨拶に次いで、生きがいサロンに毎回出席して会を盛り上げてくれる那須塩原市社会福祉協議会「地域支え合い推進員」の齋藤眞由美さんが紹介され、簡単な挨拶の後、特別な席に着くことなく、会員の班編制（今回は出席順の編成に加え、区役員が一つの班）の中に入り、ゲームを一緒に行った。

第１部　運で勝負　スティックゴルフ（軟式用テニスボールを小型のスティックで打つ）
①ボールがギリギリに通過できるゲートが中央に１個
②ボールがスポッと入るボックスが両翼にそれぞれ1個づつ
③跳ね返ったボールが入る逆籠が両翼に1個づつ
④最後にボールが停止したエリア（ラインで明記）等それぞれ異なった点数が得られ、その合計点を争うゲーム。ゲームは連絡員の依田 孝さんによるゲームの方法と注意事項の説明があり、編成された７チームが、時間の関係で総当たりのリーグ戦ではなく、変則的な４チーム対抗で行われた。

ゲームは和気あいあいに行われ、ゲート通過、ボックスへのホールインワン、逆籠入り等 達成時には小さなガッツポーズをとるが、前記の「齋藤さん」はそれが任務の一つなのか、、、喜びを全身で表し、時には飛び跳ねて、会を盛り上げて頂き、感謝、感謝です。

第２部　ビンゴゲーム

ビンゴ成立者には順次賞品が与えられ、10位程で打ち切られ（時間の関係か）幾つかのリーチになりながら成立せず残念がった参加者が複数いた様だった。以下同じ賞品を戴いた。

最後に本来ならば一同に会して楽しくいただく弁当は、コロナウイルスへの対策の一つとして持ち帰りとして配付され、更には参加者には前もってマスクの着用が要請されており、参加者全員マスク着用であった。

※今回は区と生きがいサロンとの共催のためか、参加賞を含め賞品（日用品主体）が豪華だった。

※写真は、依田 孝さんが撮影したものです。

投稿　田んぼの学校で、サツマイモ堀りと収穫感謝祭

四区町　山﨑智雄

美土里ネット那須野ケ原と連携する「刈込みどじょっこ会」（辻野岩男会長）田んぼの学校では、親子、西小学校の先生、協力員、指導員など76名が参加して11月14日（日）に、サツマイモ堀りと収穫感謝祭を行いました。

この会は、四区町環境保全会に参加している構成員（主体）の一つであり、米作りについて学び、先人の苦労と文化・水と土と太陽の光に触れ自然環境を守ることが目的です。

サツマイモは6月13日に苗を植えた「べにはるか」100本で、210kg収穫することができました。大きなサツマイモが顔を見せるたびに、子ども達や大人からも歓声が上がりました。

収穫後、参加者は四区町公民館に移動して、種まきから田植え、除草まで手掛けた「もち米」で餅つきをして、外で家族ごとにテーブルにつき、つきたての餅をあんこ、きなこで美味しくいただき、収穫を祝いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、稲刈りと天日干しの脱穀は、環境保全会の役員だけで行いました。なお、この日収穫したサツマイモと精米したコシヒカリ５合を家族へのおみやげとして持ち帰りました。